



# まちがど トピックス

## ■憧れのプロ野球選手と触れ合えるイベントが盛りだくさん！

7月25日、26日、富田林バッファローズスタジアムで、富田林ドリームフェスティバル、ウエスタン・リーグ公式戦「オリックス対阪神」が開催され、夏空の下、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。当日は、子どもたちが花道を作って守備に就く選手をハイタッチで送り出す「選手の花道」や、オリックスの選手とバーベキューが楽しめる「星空のバーベキュー！」などのイベントも実施され、参加した人たちは憧れのプロ野球選手との触れ合いを楽しんでいました。



## ■夜空を彩る華麗な光の競演

8月1日、富田林市の夏の風物詩「PL花火芸術」が開催されました。花火は、まばゆいばかりのスターマインでスタート。その後、30号大の一尺玉と呼ばれる大型花火や、新作の花火が次々と打ち上げられました。見物に訪れたたくさんの観客は、暑さをしばし忘れて、華麗な光の競演に見入って、歓声を上げていました。

開始直前に姿を現した、真ん丸お月さまも花火を楽しんでいるかのような様子でした。

## ■日本の文化、学びました

7月21日～8月10日、姉妹都市であるアメリカ合衆国ベスレヘム市から、交換学生3人が本市を訪れました。

7月30日には、市役所を訪問した後、富田林寺内町を散策し、重要文化財旧杉山家住宅を見学したり、燈路作りや陶芸を体験したりしました。滞在中は、市内でホームステイをしながら、さまざまな体験を通して、日本の文化を学びました。



## 写真とともに見る7月～8月のできごと





## ■ゴールできるかな？

8月13日、東板持町一丁目の「ひまわり迷路」のひまわり約900本が満開を迎えました。

このひまわり迷路は、東板持地区の町会・自治会の集まり「オール東板持」とNPO法人東板持が協力して作成したものです。当日は、地域の子どもたちが集まり、誰が一番早くゴールできるか競走したり、ひまわりやそこに集まるミツバチなどの昆虫を観察したりしていました。ひまわり迷路は来年の夏も楽しめる予定です。

## ■落書きをきれいにしました

8月6日、第一中学校の生徒約45人が、府道森屋狭山線（202号）の富美ヶ丘南交差点から小金平交差点までのトンネル内で、ペンキ塗りによる落書き消しをしました。これは地域の環境整備の取り組みとして府富田林土木事務所の指導で実施されたもの。

参加した生徒たちは、きれいになった壁面を見て、「とても疲れたけど、きれいになってめっちゃ気持ちいい」と、達成感を感じていました。



## ■戦後 70 年の戦争展

8月7日～9日、すばるホールで、「第31回平和を考える戦争展」が開催されました。

今年は、「戦争と子どもたち」をテーマに、学童疎開に関する朗読や講演会が実施されました。また、学童疎開の展示パネルの前では訪れた家族が、当時疎開した子どもたちの日記やその様子を真剣に見入っていました。これからも本市は戦争展を通じて、次世代を担う子どもたちに平和について語り継いでいきます。

## ■祝、甲子園初出場！

8月4日、第97回全国高等学校野球選手権大会に、大阪代表として出場を決めた、大阪偕星学園高等学校硬式野球部の皆さんが、市役所を訪れました。同校は、市内に野球部専用グラウンドがあり、日々、厳しい練習を積んで、念願の甲子園初出場を勝ち取りました。多田市長は、「日頃の練習の成果が実を結び、本市にとって大きな喜びです。甲子園では自信を持って、存分に戦ってください」と、激励しました。

